

雑草防除研究記念碑除幕式

この度、雑草管理教育研究センターの玄関前に「雑草防除研究発祥の地」の記念碑（縦150cm幅25cm角の黒御影石）を設置いたしました。これは竹松哲夫名誉教授（昭和62年退官、平成9年逝去）の功績顕彰記念碑でもあります。

竹松先生は、昭和21年宇都宮農林専門学校（1949年大学に編制）に着任され、退官まで雑草防除研究一筋に邁進され、世界の農業の近代化に貢献されました。

昭和42年には全国唯一の雑草防除研究施設（3部門教官6名）が認定され、数々の成果を挙げてまいりました。専攻生・研修生は卒業後も先生を囲む「竹峰会」を結成し、長年に亘り親交を重ねて参りましたが、先生の生誕100年に当り、その功績を讃え記念碑設立の要望が高まり実現の運びとなりました。

竹松先生の特記すべき業績は、除草剤を土壌表面に散布して作物に害なく雑草を抑える土壌処理層理論の確立であり、現在使われている土壌処理剤はこの理論のもとに実用化されています。近年、水田作業の中で手取り除草が見られないのはこの原理の応用により除草剤を用いているためです。

また、イネとその害草ヒエの生育中に茎葉に直接散布してヒエだけを枯殺する選択性除草剤の開発など、労力軽減を通して世界の農業の近代化に大きく貢献いたしました。

これらの功績に対して、紫綬褒章、農林大臣賞、学士院賞、外国の諸賞等を受賞いたしております。

（文責：昭31化卒 近内 誠登）



記念碑除幕式